

## 【縁で集う我ら、語ろう未来、歩もう明日へ！～全国農業青年交換大会～】

昨年、開催が見送られた全国農業青年交換大会が、ブロック大会（今回は「第42回中国四国地域若い農業者の集い」）と併せて実施する形式にリニューアルしました。10月21日（水）から23日（金）日に島根県を主会場に開催され、三重県からは2名のクラブ員が参加しました。

本大会のテーマは「えん（縁、円、遠 etc）」、大会スローガンは「縁で集う我ら、語ろう未来、歩もう明日へ」です。出雲大社の地らしく、今回の出会いを大切に、大きく広げていきたいという思いがこもっています。

開会式の後、中国四国地域の青少年クラブ員によるプロジェクト発表・意見発表がありました。技術課題やブランド化、情報発信、異業種と協働したマーケティング戦略など意欲的な取組の発表があり、参加者全員が興味深く聞き入りました。昨年度の全国大会でトップの評価を受けたプロジェクト発表も行われ、内容だけではなく態度や話し方もすばらしく、皆さん感心していました。

面白い企画と感心したのが「名刺交換会」です。たっぷり1時間、会場が騒然となるなかで、一人でも多く名刺交換し、後日連絡を取り合えようとしてそれぞれが意欲的に話しかけている姿に感激しました。

続く「歓迎の夕べ」では、中国四国各県の特産コーナーや地域産フルーツの大きなタワーに舌鼓を打ちました。農業青年の演奏やパフォーマンスに大拍手、島根県会長のどじょうすくいに大爆笑、会場での会話も盛り上がり、心のこもったあたたかい歓迎会でした。

2日目は5コースに分かれてのバススクールで、島根県、鳥取県のきらりと光る農業の取組を学ばせていただきました。その夜の地域交流会もそれぞれアットホームな企画で楽しく盛り上がり、それぞれの距離がより近づいたなと感じました。

最終日の閉会式会場は、大会テーマの「えん（縁、円、遠 etc）」ゆかりの出雲大社でした。全国農業青年クラブ連絡協議会萩原会長から、「いい大会になった」という感想に続き、中国四国ブロック実行委員長の古川氏は「やって良かった」という挨拶を述べつつ、感極まって言葉に詰まる場面もあり、大会への思い入れや充実感が伝わりました。最後に大会旗を時期開催地の近畿ブロックに引継ぎ、3日にわたる大会が終了しました。

3日間を通して本当にいい大会だったと感心しました。300名を超える大きな大会を農業青年の皆さんが手作りで作り上げ、やり遂げたことはすばらしいことです。主催者だけでなく参加者一人一人がこの大会を作り上げるんだという熱気が伝わってきて、大感激しました。スローガン通り、今回、縁で集った皆さんが、夜遅くまで熱く夢を語り、明日へ歩み出す勇気をさらに生み出す大会になったと感じています。



（開会式の様子）（どじょうすくいを熱演 島根県会長）（現地交流会の様子）